

第3回SGH企画講演会

ツヴィリングJ. A. ヘンケルスジャパン株式会社 常務取締役 山田昌之先生の講演を1年生が聴講しました。

テーマ：「関から世界へ」～それを支える人材とは～
日時：平成27年10月20日（火） 第6限～第7限
対象：1年生全員（272名）
会場：関高校体育館

8年間の家族帯同でのアメリカ駐在の経験談を交えながら、会社がどのようにグローバル企業となったか、またグローバル人材とはどのようなものかを話していただきました。「海外に興味があるか」「関市のアピールポイントは何か」等の質問を投げかけられ、最初は戸惑いがちな生徒も、ペアでの交流が行われ、アクティブな講演会となりました。

たくさんほめ、発想力が豊かなアメリカのよさを語りつつ、世界を感じる日本や関の魅力もビデオで紹介されました。また、ご自身の経験から考えるグローバル人材に必要な条件として、「情報収集能力」「日本と地域の独自性の理解」「相手を知る努力」「積極性」「伝える力」を挙げられ、「勇気を出して世界に飛び出し、異文化交流の楽しさを体験してほしい」と話されました。



真剣に聞き入っています。



ペアでの交流が楽しく行われました。



自分から質問する生徒もいました。

【生徒の感想】

■今回の講演で、グローバルな人材となるために必要なことを知ることができました。その中でも特に自分に必要と感じたのは、**積極性と対応力、発想力**です。僕は自分から何かをしたり、急な変化に対応したりすることが苦手です。だから、今後は少しずつでもそれらを出来るようにしたいです。また、**対応力**という点に関して、**その場に応じた考えの伝え方も出来るように、色々な場面でそういうことを意識していきたいです。**

■今回のお話を聞いて、グローバルリーダーとはどういうものなのか、私たちはどうやって何を目指していけばいいのかを考えさせられました。**アクティブラーニングでも礼文島研修でも、自主性や積極性がなければ何事もなく過ぎていく**ということを感じていたので、**そういう姿勢がグローバルリーダーの育成にも重要だ**ということに共感しました。

■グローバルな人材とは何だろうと自分で考えたとき、私は英語が話せないといけないと勝手に思っていました。しかし、**大切なのは積極的に自分から行動を起こして行くこと、他者を尊重し受け入れることだ**ということが分かりました。それらは、一見簡単そうに見えて難しいことだと思います。でも、**価値観の違いを知ったり、たくさんの経験を積んだりすることで、自分の世界が広がるきっかけになります。**高校生になって以前よりも行動範囲が広がったので、積極的に関わられるようにしたいです。